

(様式4)

教育研究グループ「研究結果」報告書

報告日 令和4年5月18日

グループ名	足立区立保木間小学校	フリガナ 代表者氏名	カナイズミ リュウイチ 金泉 隆一
学校名 (代表者)	足立区立保木間小学校	電話番号	03-3884-0416
研究テーマ	よりよい生き方を目指す児童の育成 ～自己を見つめ、他者との関わりを深める道徳科の指導～		
研究期間	令和3年4月6日 から 令和4年3月16日 まで		
研究結果 の概要 ※詳細は別 紙により 報告	<p>児童の実態や校内の指導上の課題を分析した結果から、研究主題を「よりよい生き方を目指す児童の育成～自己を見つめ、他者との関わりを深める道徳科の指導～」とした。</p> <p>研究主題に迫るための研究仮説を『「自己を見つめる」ための手立てや、「他者との関わり」における手立てを工夫することで「よりよい生き方を目指す児童の育成」につながるのではないか。』と設定した。講師を招聘して、指導法についての講演を受けて研究授業を6本行った。</p> <p>第1回 7月7日(水) 第5学年 主題名:自分の長所をもっと伸ばして A〔個性の伸長〕 第2回 10月21日(木) 第2学年 主題名:分けへだてのない心 C〔公正、公平、社会正義〕 第3回 11月24日(水) 第4学年 主題名:本当の友だち B〔友情、信頼〕 第4回 12月22日(水) 第6学年 主題名:思いを受け継いで生きていく D〔生命の尊さ〕 第5回 1月26日(水) 第3学年 主題名:自分の学級のよさを見つめて C〔よりよい学校生活、集団生活の充実〕 第6回 3月16日(水) 第1学年 主題名:ともだちのために B〔友情、信頼〕</p> <p>研究授業では、「自己を見つめる」「他者との関わり」の2点を共通したテーマとして設定し、指導法の工夫に取り組んだ。</p> <p>「自己を見つめる」ための手立て</p> <ul style="list-style-type: none">・価値理解につながる導入の工夫・教材提示の工夫・教材理解を生かした振り返りの工夫・教材分析表の工夫や活用・発問の工夫や精選・問い返しや補助発問の計画 <p>「他者との関わり」における手立て</p> <ul style="list-style-type: none">・事前アンケートの工夫や活用・構造的な板書の工夫・ペアや小集団での意見の交流・動作化や役割演技など心情を捉える工夫 <p>研究協議や講師からの指導講評により、「発問の練り上げや構成」「児童の発言を生かした授業展開」「児童がより理解を深めやすい板書の方法」「価値項目の押さえを明確にした指導過程」について、学校全体で理解を深めた。</p> <p>それぞれの教員が日々の道徳授業に生かすことで、児童の「よりよい生き方を目指す」力を育むことにつながった。</p> <p>道徳の研究を推進することで、児童が変容した。それは、お互いを認めあったり、友達を大切にするようになったりする場面が増えたことである。日々の生活の中での児童の言葉や行動のわずかな変化ではあるが、道徳の研究に取り組んだ成果だと考える。お互いのよさや個性を認めあっていくことは、これからの子どもたちの人生において必要なことだと考える。今後も児童の実態から自らの授業を見つめ、職員が学び合える環境に感謝し、研究主任を中心に日々研究・研修を進めていきたい。</p>		
その他 特記事項			

学校教育目標

豊かな子 (自分に自信をもち、友だちを大切にできる子。)
考える子 (めあてをもち、意欲的に学習する子。)
たくましい子 (あきらめない強い心とやり遂げる体力のある子。)

研究主題

よりよい生き方を目指す児童の育成

～自己を見つめ、他者との関わりを深める道徳科の指導～

研究仮説

「自己を見つめる」ための手立てや、「他者との関わり」における手立てを工夫することで「よりよい生き方を目指す児童の育成」につながるのではないか。

目指す児童の姿

低学年

- 素直にのびのび生活する。
- 友達と仲良く助け合う。
- 身近な自然に親しみ、自然を大切にする。
- 約束や決まりを守り、学校生活を楽しいものにする。

中学年

- 自分でやろうと決めたことにねばり強く取り組む。
- 相手のことを思いやり、助け合おうとする
- 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする。

高学年

- より高い目標を立て、希望と勇気をもって最後まで努力する。
- 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場を考えて親切にする。
- 生命がかげがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する。
- 差別や偏見を見抜き、公正・公平な心で社会生活を改善していこうとする。

研究主題に迫るための手立て

自己を見つめる

- ・価値理解につながる導入の工夫
- ・教材提示の工夫
- ・教材理解を生かした振り返りの工夫
- ・教材分析表の工夫や活用
- ・発問の工夫や精選
- ・問い返しや補助発問の計画

他者との関わり

- ・事前アンケートの工夫や活用
- ・構造的な板書の工夫
- ・ペアや小集団での意見の交流
- ・動作化や役割演技など心情を捉える工夫

令和3年度保木間小学校 各研究授業本時指導案

第1回 7月7日(水) 第5学年 主題名:自分の長所をもっと伸ばして A〔個性の伸長〕

ねらい 手塚治虫の生き方から、自分の特徴に気付き、長所を伸ばそうとする心情を育てる。

教材 日本の「まんがの神様」出典:「新・みんなの道徳 5年」学研

学習指導過程

	学習活動(主な発問・予想される児童の発言)	◇指導上の留意点 ★評価
導入	1 アンケート結果を知る。 ○あなたには、長所がありますか。 ○あなたには、直したいところ(短所)がありますか。	◇アンケート結果を提示し、価値に関する導入を行う。
展開	2 教材【日本の「まんがの神様」】を読み、話し合う。 ○いじめられている時、治はどんな気持ちだったでしょう。 ・いやだなあ。 ・どうしていじめられるんだろう。 ・なんとかしたいなあ。 ○クラスの友達に自分のまんがが回し読みされている時、治はどんな気持ちでしたか。 ・認めてもらえてうれしい。 ・自分に自信がもてた。 ・もういじめられないかもしれないな。 ○先生に認めてもらった時の治は、どんな気持ちだったでしょう。 ・嬉しい。 <u>補:先生は、治のまんがが上手だったからだけで認めてくれたのでしょうか。</u> ・自分のよさを認めてくれたんだ。 ・自分の長所をもっと伸ばしていきたいな。 ◎生涯、まんがをかき続けた手塚治虫は、どのようなことを大切に続けたと思いますか。 ・努力をし続けること。 ・自分の強みを活かすこと。 ・辛いことがあっても乗り越える力。 ・自分の好きなことをやり通すこと。	◇スライド形式で教材提示を行う。 ◇いじめられている時の治が、自分を否定的に捉える気持ちを引き出し、第二発問で対比させたい。 ◇クラスの友達から認めてもらって嬉しい気持ちだけでなく、自分の自信につながったことにも気付かせたい。 ◇嬉しい気持ちだけでなく、治の長所であるまんがをかき続けた努力や成長を認めてくれたのではないかとという気持ちに気付かせたい。 ◇嬉しいという表面的な意見に偏った場合、補助発問をして、治の長所に目を向けさせる。 ◇生涯、まんがをかき続けた治が大切にしたことを考えさせることで、多面的多角的に、治の長所に気付かせたい。 ★手塚治虫の生き方を通して、自分のよさを大切にすることについて考えを深めているか。(発言)
	3 自己を振り返る。 ○あなたにはどんなよいところ(長所)がありますか。また、そのよさをどのようにしていきたいですか。	◇長所が書けない児童には、教師から児童のよさを伝える支援をする。 ★自分の長所に気付き、よさを伸ばすことについて自己を見つめていたか。 。(WS)
終末	4 教師の説話を聞く。 クラスの友達からのメッセージを読む。	◇余韻を残して終わる。

第2回 10月21日(木) 第2学年 主題名：分けへだてのない心 C [公正、公平、社会正義]

ねらい 差別された側の心情を共感的に理解することを通して、誰とでも分け隔てなく接していこうとする態度を育てる。

教材 つくえふき 出典：「新・みんなの道徳 2年」学研
学習指導過程

	学習活動（主な発問・予想される児童の発言）	◇指導上の留意点 ★評価
導入 5分	<p>1 自分の経験を振り返り、本時の学習のめあてをつかむ。</p> <p>○並んでいるときの、横入りをどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横入りはだめ→後ろの人がいやな思いをする。 ・友だちだったら、入れてあげようかな。 ・「入れてあげるよ」って言われたら、どうしよう。 	<p>◇身近な問題を提示し、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</p> <p>◇自分の利害を優先してしまうときがあることを押さえる。</p>
展開 5分 5分	<p>2 本文を読み、問題点を明確にする。</p> <p>○ゆうとさんはどのように机を拭いていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴシゴシと拭いていた。 ・サッサッと拭いていた。 <p>3 机を拭いているとき、なかのよい友達とそうでない子でどんな気持ちだったか考え発表する。</p> <p>○ゆうとさんは机を「ゴシゴシ」拭くときと、「サッサッ」と拭くときどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>【ゴシゴシとふくとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかないからちゃんとやろう。 ・きれいにしたい。 ・よろこんでもらいたい。 ・当番の仕事を完璧にやり遂げたい。 <p>【サッサッとふくとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そんなになかよくないから適当でいいか。 ・楽をしたい。 ・早く終わらせて、遊びにいきたい。 ・拭いているんだから別にいいじゃん。 	<p>◇ゆうとさんが人によって拭き方を変えていることが問題であることを明確にする。</p> <p>◇挿絵を貼り、キーワードを板書して考えを整理できるようにする。</p> <p>◇拭いている人の立場になり、なぜ行動が違うのか本文の内容をもとに気持ちを想像させる。</p> <p>◇ゆうとさんは全員分拭いているのでさぼっているわけではないことや、仲の良い友達の机を丁寧に拭くことが悪いことではないという意見に注目させ、「公正、公平」についての考えを深めるよう支援する。</p>
15分	<p>4 拭かれている人の気持ちや見ている人たちの気持ちを考えて発表する。</p> <p>○ゆうとさんの拭き方をされたときどんな気持ちになりますか。</p> <p>【ゴシゴシとふいているのを見たとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一生けんめいしごとをしているな。 ・えらいな。 <p>【ゴシゴシとふかれたとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ていねいに拭いてくれてうれしいな。 	<p>◇拭き方の違いを明確にすることで、不公平について自分のこととして考えさせるために、役割演技をさせる。（ゴシゴシ拭く役、サッサッと拭く役に分けて）</p> <p>◇自分がされたらと考えることを含めて、サッサッと拭かれたときの心情を掘り下げていく。</p> <p>◇ゆうとさんは全員分の机を拭いているが、拭き方が人によって違うと、拭かれている人の気持ちも変わることに気付かせる。</p>

10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうとさんやさしいな。 ・ゆうとさんのを自分もきれいにしてあげよう。 【サッサッとふいているのを見たとき】 ・きちんと仕事をしていないな。 ・あれでいいのかな。 【サッサッとふかれたとき】 ・なんだかかなしい。 ・みんなのをていねいにやりなよ。 ・ひどいな。 ○わたしがもやもやしているのはなぜだと思いますか。 ・みんなに対して同じ拭き方をしていないから。 ・人によって拭き方を変えていらから。 5 自己を振り返り、「公正、公平」についての自分の考えをワークシートに書き、発表する。 ○今まで人によって行動を変えてしまうことはありませんでしたか。 ・仲の良い友達にだけやさしくしてしまった。 ・仲の良い友達には、ミニ先生をしに行かなかった。 ○ゆうとさんに何と言ってあげますか。 ・なかのよい子とそうでない子で差をつけるのはよくない。 ・自分の考えだけではなく、された人の気持ちになって行動する。 ・誰にでも同じようにやさしくしよう。 	<p>★机を拭いてもらう側の心情について考え、人によって言動を変えることなく生活しようという気持ちをもつことができたか。(発言)</p> <p>◇これまで好き嫌いによって差をつけてきたことがなかったか、内省させる。</p> <p>★机を拭いてもらう側の心情について考え、人によって言動を変えることなく生活しようという気持ちをもつことができたか。(ワークシート・発言)</p>
終末 5分	6 教師の説話を聞く。	◇公正、公平に関する具体的な話を聞かせ、学習したことを生かそうとする意欲をもたせる。

第3回 11月24日(水) 第4学年 主題名: 本当の友だち B〔友情、信頼〕

ねらい 友達と意思合うことについて、多面的・多角的に考え、よりよい友達関係を築いていこうとする心情を育てる。

教材 泣いた赤おに 出典:「新・みんなの道徳 4年」学研
学習指導過程

	学習活動 (○主な発問・予想される児童の発言⇒・への問い返し)	○副発問 ◇指導上の留意点 ★評価
導入 5分	<p>1 友達とはどんな関係の人のことをいうのか、学習前の考えを確認する。</p> <p>○友達とは、どんな人のことをいいますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒にいる。 ⇒入院した友達は、友達でなくなるのですか。 ・笑顔でいられる。 ⇒みなさんと、門坂先生は友達ですか。 ・遊ぶ。 ⇒上記+一方がしぶしぶでも友達といえますか。 ・気が合う。 ⇒好きな○や嫌いな○がすべてそろっていないと、友達とはいえませんか? ・なかよし。 ⇒具体的にどのような関係を本当のなかよし、本当の友達といえるのでしょうか <p>2 本時を通して考えるテーマをつかむ。</p> <p style="text-align: center;">～本時を通して考えるテーマ～</p>	<p>◇学級の児童の友達に対する考えを提示し、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</p> <p>◇問い返しの発問によって、児童がもっている友達に対する考えをゆさぶり、学習への意欲を高め、本時を通して考えるテーマとゴールを明確にする。</p>
本当の友達って、どんな友達?		
展開 10分 5分 15分	<p>3 教材「泣いた赤おに」の読み聞かせを聞き、赤おにと青おにについて話し合う。</p> <p>○これは何をしているところですか。</p> <p>○なぜ青おにはこれらの行動をとれたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達だから。 ・赤おにと人間が仲良くなってほしいから。 <p>○赤おにはなぜ泣いたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅に出て寂しいから。 ⇒赤おにのための行動がなかったとして、ただの旅だとしても悲しい気持ちは変わりませんか。 ・青おにの優しさに気付いたから。 ⇒どんな優しさですか。 ・青おにと違って自分は、自分のことばかり考えていたことに気付いたから。 	<p>◇時間の流れと赤おにと青おにの互いへの気持ちが見えるように板書を行う。</p> <p>◇児童の意見に応じて、つないだり、問い返しや補助発問をおこなったりして、「本当の友達」についての考えを深めていく。</p>

2分	<p>○お芝居をしていることがばれて、人間と仲良くなれなかったとしたら、二人は本当の友達ではなくなりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当の友達ではなくなる。 ・相手を思っただけの行動だから本当の友達であることは変わらない <p>○本当の友達とは、どんな友達のことをいうのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことでなく、相手のことを思い合う関係。 ・体同士の距離でなく、心同士の距離が近い友達のこと 	<p>★互いを思い合うことについて、多面的・多角的に考えを深めたか。(発言・ノートプリント)</p> <p>◇学習前の友達に対する考えと、本時、学んだことを比較し、考えの深まりや変化を確認する。</p>
終末 8分	<p>5 学んだことを生かして、友達とのよりよいかかわり方について自己を見つめ、これからの行動についてノートプリントに書き、発表する。</p> <p>6 学習のまとめを行う。</p>	<p>★友達とのかかわり方について自己を見つめ、友達と助け合うよさを感じているか。(発言・ノートプリント)</p> <p>◇本当の友達について、しっかりと学べたことを価値づけし、実践への意欲を高めさせる。</p>

第4回 12月22日(水) 第6学年 主題名：思いを受け継いで生きていく D [生命の尊さ]

ねらい 家族とのつながりの中で、受け継がれていく生命のすばらしさや、かけがえのなさを自覚し、尊重する心情を育てる。

教材 「その思いを受けついで」 出典：「新・みんなの道徳 6年」学研

学習指導過程

	学習活動 (○主な発問・予想される児童の発言)	◇指導上の留意点 ★評価
導入	1 アンケート結果を知る。 ○あなたは、命は大切だと思いますか。 ○「命を大切にすると」とは、どのようなことだと思いますか。	◇アンケート結果を提示し、価値に関する導入を行う。
展開	2 「その思いを受けついで」を読み、話し合う。 ○「ぼく」が毎日欠かさず病院に通っているとき、どんな気持ちだったのでしょうか。 ・じいちゃんにはやくよくなって欲しい思いから。 ・できるだけじいちゃんの傍にいたい。 ・じいちゃんを支えたい。 ・じいちゃんとの残りの時間を大切にしたい。 ○弱いながらも手を握り返したじいちゃんはどんな気持ちだったのでしょうか。 ・今までたくさんお見舞いに来てくれて、ありがとう。(感謝) ・大地と過ごした時間は楽しかった。(感謝) ・じいちゃん分まで強く生きていくんだよ。(願い) ・大地、頑張れ。(願い) ・もっと、大地と一緒にいたかった。(未練) ・まだ、生きていたい。(未練) ◎ふるえて力のないじいちゃんの字やしわくちやののしぶくろを見て、「ぼく」はどんなことを考えたのだろうか。 ・大好きなじいちゃんが死んでしまって悲しい。 ・ぼくの誕生日を覚えてくれてありがとう。 ・じいちゃん分まで、精一杯生きるね。 ・じいちゃんが死んでしまっても、じいちゃんはぼくの心の中で生き続けるよ。 ・おじいちゃんみたいに強くて優しい人になるね。	◇大地は放課後、友達と遊ぶこともせずに毎日お見舞いに行っている。 30日×3カ月と考えると約90日間もお見舞いに行っていることになる。 この行動の背景にある大地のじいちゃんへの思いを考えさせたい。 ◇大地が手を握ったあと、じいちゃんが弱いながらも手を握り返してくれたことを確認し、じいちゃんも大地のことを大切に思っていることを押さえる。 ◇「じいちゃん」の思いを多面的・多角的に考えることで、思いを受け継ごうとする「ぼく」の思いへとつなげていく。 ★ぼくとおじいちゃんがお互いを思い合う気持ちを考えることを通して、人の思いが受け継がれていく生命のすばらしさについて考えていたか。 (ワークシート・発言・態度) ◇題名「その思いを受けついで」との関連性について、児童の発言から価値付ける。
	3 自己を振り返る ○今日の学習を通して、命の大切さについてどんなことを考えましたか。	★授業前に考えた命の大切さについてふりかえり、受け継がれていく生命のすばらしさや、かけがえのなさについて考えていたか。 (ワークシート・発言・態度)
終末	4 教師の説話を聞く。	◇教師の体験談を話す。

第5回 1月26日(水) 第3学年 主題名:自分の学級のよさを見つめて C〔よりよい学校生活、集団生活の充実〕

ねらい 自分の学級のために、自分から進んで関わることの大切さを改めて考え、学級のよさを見つめて明るく楽しい学校生活を送りたいという心情を育てる。

教材 「なかよしポスト」 出典:「新・みんなの道徳 3年」学研

学習指導過程

	学習活動(主な発問・予想される児童の発言)	◇指導上の留意点 ★評価
導入	1 アンケートの結果を知る。	◇事前アンケートを活用する。嫌いだと思う理由の中の「間違えただけなのに、友達に笑われるから」という登場人物と同じ気持ちになった児童の意見を紹介し、価値と教材の導入を図る。
	3-2の一員として、よりよいクラスにするために大切なことを考えよう。	
展開	<p>2 教材『なかよしポスト』を読み、話し合う。</p> <p>○自信をもって手をあげて発表した時、まちがえてわらわれてしまった未来はどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑うなんてひどい。もう発表したくないな。 ・間違えることは誰にでもあるのだから、笑わないでほしい。 <p>○クラスみんなは、どんな気持ちで未来さんに「なかよしカード」を書いたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑ってしまってごめんね。 ・僕もしたことあるのに、ごめんね。 ・間違いは誰にでもあるから元気を出して。 <p>◎未来が、前よりもこのクラスが好きになったのは、どんな気持ちからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに励ましてもらって嬉しくなったから。 ・学級みんなのやさしさが伝わって温かい気持ちになったから。 	<p>◇自分の経験に立ち返り、気持ちを想像させる。否定的な気持ちになったことを押さえ、第三発問で気持ちの変化と比較させる。</p> <p>◇児童の発言から、友達を冷やかすクラスは望ましくないことをおさえる。</p> <p>◇クラスみんなの気持ちについて多面的・多角的に考えることで、未来(友達)を思いやる気持ちを捉えさせる。</p> <p>◇「なかよしカード」を用意し、謝罪の気持ちの他に励ます意図があったことをおさえる。児童の発言から、その日のうちに謝れるクラスを価値付ける。</p> <p>◇未来の気持ちが明るくなり、前よりもこのクラスが好きになったのはどういう気持ちになったからかを考える活動を通し、気持ちの変化を捉える。</p> <p>★「なかよしカード」を書くクラスみんなの気持ちに共感し、未来の気持ちを考えようとしていたか。(発言)</p>

	<p>3 自己を振り返る。</p> <p>◎3-2の一員として、よりよいクラスにしていくためには、どんな気持ちをもつことが大切でしょうか。(ワークシート)</p> <p>アンケート結果を知る→係活動や当番活動を頑張っていることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のいいところをいっぱい見つけてはげます。 ・係活動を同じグループの人と協力してやる。 ・みんなが生活しやすいように、当番をする。 	<p>◇なかよしポストがおいてある未来のクラスをどう思うかおさえる。その上で、自分のクラスをどういう風にしていきたいか考えを繋げる。</p> <p>◇事前アンケートを活用する。自分の考えが書けない児童には、提示されているアンケート結果を参考にするように助言する。</p> <p>★3-2の一員として、学級のためにできることを自分のこととして振り返ることができたか。(ワークシート)</p>
<p>終 末</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<p>◇教師から見た3年2組のよさを伝える。</p>

ねらい 友達と仲よくし、助け合うことの大切さに気付き、互いに仲良く助け合おうとする心情を育てる。

教材 「くりのみ」 出典：「新・みんなの道徳 1年」学研

学習指導過程

	学習活動（主な発問・予想される児童の発言）	◇指導上の留意点 ★評価
導 入	1 友達について意識付けをする。	◇「仲よし」「いっしょに遊ぶ」等の言葉から友情への意識付けをして、価値への方向付けをする。
展 開	2 教材『くりのみ』を読み、話し合う。 ○食べ物を探しに行くきつねはどんな気持ちだったでしょう。 ・早く何か食べたい。 ・おなかがいっぱいになりたい。 ○「はらぺこです」といったきつねはどんな気持ちだったでしょう。 ・どんぐりは独り占めしたい。 ・本当のことを言ったら自分の分が無くなる。 ・ぼくが見つけたんだ。 ○「二つあるので一つあげます」といってくりのみをわたすうさぎはどんな気持ちだったでしょう。 ・こまっているから ・友達だから ◎きつねはどんな気持ちで涙を流したのでしょうか。 ・どうして分けてくれるの。 ・自分はたくさんあったのに隠してしまった。 ・うさぎさんは2つしか見つけてないのに。 ・うそをついてごめんね。	◇きつねが食べ物に困っている様子をおさえる。 ◇動作化：どんぐりを隠すきつね ◇友達であっても自分の都合で、助け合えないきつねの感情を押さえる。 ◇役割演技：くりのみをわたすうさぎと受け取るきつね ◇友達のことを思って分け与えるうさぎの考えを押さえる。 ◇動作化：くりのみをわたすうさぎと受け取るきつね ◇友達からの優しい行動に、自分を省みて友情の温かさに気付くきつねの気持ちを捉えさせる。 ★きつねの気持ちに共感して、友達からの行動の意味を考えられたか。（発言）
	3 自己を振り返る。 ◎「友達っていいな」と感じたのはどんなときですか。これまでのことを振り返って考えましょう。 ・転んだときに優しくしてくれて嬉しかった。 ・勉強を教えてくれて助かった。 ・ものを拾うのを手伝ってくれて嬉しかった。	◇友達の良さを実感したときの経験と気持ちを想起させて友情の価値を感得できるようにする。 ★自分と友達との関わりを振り返ることができたか。（ワークシート）
	終 末	4 教師の説話を聞く。